



九州・大分県を中心に、福岡、熊本など九州一円に、パチンコ、スロット店約15店を展開するのが、(株)エーワンです。「どこにもない、面白い企業をこれから興そう」(荒木慎二社長)とはじめたのが、1997年。それからたったの15年でここまで

できました。「当初は潤沢な経営資源があるわけでもなく、文字どおりゼロからのスタート」(同)

驚異的な成長のスピードです。その原動力は、創業当初から新卒採用を中心として若い力を

集め、人材育成に力をそそいできた結果といえます。そんな若い、エネルギーが豊富なエーワンですが、社会貢献活動にも熱心です。会社全体としての取り組み

上から、盲導犬育成支援、ポリオワクチンを送る運動、愛のお菓子運動、防犯パトロール、グランドゴルフ大会



(株)エーワン

としては、まずは「盲導犬の育成事業」への支援。来店のお客様に募金を呼びかけています。集めた募金は、定期的に財団法人日本盲導犬協会を通じて、目の不自由な方の力になっています。ペットボトルキャップを集めて資金とし、貧しい国の子どもたちにポリオワクチンを送る運動にも参加しています。各店舗で集められたペットボトルのキャップは、NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて、途上国の子どもたちのワクチン接種に役立てられています。

各店舗ごとに行われる地域貢献活動も盛んです。小林店、甘木店、五島店で行われているのが「愛のお菓子運動」。端玉景品のお菓子をお客様に寄付してもらい、それを地域の幼稚園や児童養護施設に定期的に届けています。むろん子どもたちには大歓迎を受けています。五島店や黒崎店では、地域の店舗や企業と一緒

になって、駅や商店街、国道沿いを定期的に清掃する活動を繰り返し実施しています。小林店では、社用車を使い、近隣の防犯パトロールも実施しています。また、五島店では、地域のお年寄りと年に1回エーワンカップグランドゴルフ大会を開催したり、車椅子を特養ホームへ寄付する活動なども行っています。

社員の自主的な取り組み

ただ、こうした活動も、社員の自主的な取り組みに任せられているそうです。「初めて福岡県、熊本県、宮崎県と他県に出店したときには、全く無名の新参者でした。だからと言って何か特別な地域貢献、社会貢献をしなければならぬとも思いませんでした。社員やスタッフが、その地域に受け入れられ、良き地域住民として地域に溶け込んだ生活者になることがまず第一です。その結果、彼らが

何かに思い当たり、それこそ普段の心で社会貢献をはじめ、いまではこんなに盛んになりました。会社としては、こんなに嬉しいことはありません」(総務部長・後藤英治氏)。

このところ、国を揺るがすような大災害が発生しています。エーワンでもいち早くその被災者救援に立ち上がっています。東北震災に対しては、震災後直ちに救援募金活動を開始。4月初旬に行われた社員総会では、全社員から募金を募り、日本赤十字社を通じて被災地に贈りました。さきに宮崎県で発生した口蹄疫では、被害の大きかった高鍋町に店舗を構えることから、地元の農家を支援するためグループ全店で募金活動を行い、社員の募金と合わせて宮崎県共同募金会に送っています。

これらの活発な社会貢献活動は、この会社の若い活力の象徴です。それがまた、企業の業績、成長のスピードを支えています。